

お知らせ

平成29年1月24日
大洲河川国道事務所

大洲市立大洲北中学校の生徒がひじかわぼし肱川橋について学びました

大洲市立大洲北中学校では、『地域の良さを実感し、地域の一員として地域とともに生きる生徒に育ててほしい』との考えで実施している地域体験学習の一環として、1年生のうち7名が肱川橋について学びました。

■日時：平成29年1月17日（火）10：30～11：30

■場所：事務所会議室、肱川橋撤去工事現場

肱川橋をテーマにした理由を聞くと、普段、何気なく渡ったり、見たりしている橋が取り壊されると聞き、橋はいつ頃出来たのか、橋が出来る前はどうか等、興味が湧いたからとのこと。

質問は、肱川橋が出来る前の通行方法から、建造時期、橋の構造、架け替え理由、誰が設計するのか、新しい橋になったらイベントはあるか、と幅広く。中には、なぜこの場所に架けたか、など回答に困るような質問もありました。

初めは緊張気味で、質問も譲り合いをしていましたが、約100年前の建造当時のレンガに触れたり、模型や写真などを使って説明すると、少し積極的に質問するようになり、より一層興味が出てきたように見えました。

また、撤去工事の現場では、第一声が「ヘルメット被りたかったー」とより積極的に。撤去用に空けた穴から下を覗いたり、時代の違う鉄筋に触れたり、積極的に現場を歩いていました。

最後の挨拶のときは、7人の表情から満足した様子が伺えました。

後日、「説明を聞いて、より興味を持った」、「上手くレポートが書けそう」と、お礼の手紙を頂き、一層、子供達が経験できる場を設ける必要があると感じました。





寒い季節下かせたじりじりして、おりましたが、国土交通省のみなさまはいかがお過ごしでしょうか。このたびは私たちの地城学習のために、たくさんの事を教えていただき本当にありがとうございます。

私は服川橋の事をあまり詳しく知らなかったけれど、服川橋のことで疑問に思ったことなど、とても聞いてほしいに教えてもらいたくさんの事を教えてもらいました。たまたま勉強にもなりました。昔の服川橋のことや、どういった造りなのかなど、とてもわかりやすく教えてくださったので、レポートにも上げようと思っております。服川橋に行かずに限られた時間に行っておく昔の造りと今の造りの違いなども知れてすごくおもしろいと思いました。お忙しいながらも貴重な時間をさけて私たちに教えていただき、とてもうれしかったです。貴重な時間をさけて私たちに教えていただき、とてもうれしかったです。ありがとうございました。

一月十七日

国土交通省・藤本 和巳様

厳しい寒さが続いておりますが、国土交通省のみなさまはいかがお過ごしでしょうか。先日は、僕達のために貴重な時間をさけていただき、本当にありがとうございました。

僕は新しい服川橋の形として、橋の歴史や今後の事について教えていただいた事が一番に残っています。身近に使っているはずの服川橋でしたが、知っている事より知らない事の方が多くてびっくりしました。それと同時に、服川橋への興味が藤本さんの話を聞くほどわいてきました。さらさらでもらった人も、自分の想像よりもとてもかたい頑丈だったので、意外でした。

今後は今回教えてもらった事を参考によりよいレポートを書くようになります。今回は本当にありがとうございました。

一月十七日

国土交通省御中 藤本 和巳様